

2024年度後期 美術学部学科試験

○教員や研究室から報告があったものを掲載しています。詳しくは各科目の授業、クラスルームで確認してください。

※音楽学部、言語・音声トレーニングセンター、演奏芸術センター開設の科目については、音楽学部の授業情報で確認して下さい。

2025.01.06更新

掲載日	曜日	時限	科目名	教員	試験日または提出期限等	実施方法	試験内容等
12/23	月	2	憲法	岡田 順太	1月13日(月) 23:30締切	レポート・課題	第13回講義日(12月26日(木))にGoogleクラスルームで指示する。 提出はクラスルームにより行う。
12/23	水	2	独語上級A-II	宮下 寛司	1月15日(水)	試験(対面)	試験範囲: 授業内で講読したテキスト 持込: 手書きのノート、プリントあるいはデバイスを用いて作成したメモのプリントアウト 試験時間: 60分
12/23	木	5	英語初級C-II	近藤 真彫	1月16日(木)	試験(対面)	授業内で説明します
12/23	木	3	化学塗装学II	鈴木 伸吾	1月16日(木) ~ 1月19日(日)	レポート・課題	提出場所: クラスルーム ※A4 2枚以内 表紙は無し 学生番号、所属学科、学年を明記 自分が作品を制作する意義(なぜ・why どのように・how)を考察し説明しなさい 自分が作品を制作しない学生は研究について、もしくは他者の制作意義について 考察し説明しなさい
12/23	月	3	仏語初級B-II	檜垣 嗣子	1月20日(月)	試験(対面)	出題範囲は後期の学習内容すべてとし、 通信機能のない辞書のみ持ち込み可とします。
12/23	月	3	図学II-II	佐藤 紀子	1月20日(月)	試験(対面)	与えられた図を決められた図法で表してください。作図道具の貸し出しはありません。自筆のノートとテキストは持ち込みを可とします。デジタル版のテキストの持ち込みはできません。 作図においては、実線、破線、対応線、作図線等の示し方に気をつけてください。 特別の理由がなく、確認試験を欠席した場合には単位の認定は出来ません。欠席する場合には、なるべく早く連絡をいれるようにしてください。 遅刻は確認試験開始から20分まで認めます。それ以降は入室できません。
12/23	火	3	西洋美術史概説III	佐藤 直樹	1月21日(火)	試験(対面)	授業で扱った主要作品の題名、作家名、制作時代(何世紀か)を問う小問題10題と(合計50点)、作品比較の記述問題1題(50点)からなる。時間は1時間の予定。ノート、教科書の持ち込み不可。
12/23	水	2	西洋美術史演習E	佐藤 直樹	1月22日(水) 23:00	レポート・課題	発表した原稿に図版をつけて提出すること。デジタルでの提出のみ。 classroomのドライブにデジタル(wordあるいはPDF)でアップロード提出
12/23	木	3	伊語中級B-II	リッチ佐藤 エレナ	1月23日(木)	試験(対面)	口頭試験形式 辞書・ノート持ち込み不可
12/23	木	4	伊語初級A-II	リッチ佐藤 エレナ	1月23日(木)	試験(対面)	口頭試験形式 辞書、テキスト、ノート持ち込み不可
12/23	金	4	英語初級A-II	船岡 美穂子	1月24日(金)	試験(対面)	試験範囲は、1月10日の授業中に告知します。
12/23	金	5	東洋陶磁史II	唐澤 昌宏	1月24日(金) 18:00締切	レポート・課題	近・現代の陶芸家(あるいは工芸家)の中から1人を選び、3点以上の作品を挙げて、その陶芸(工芸)的特質について自分の考えを述べなさい。 * 取り上げた作家については、作家名と生没年のみ記載し、略歴は不要。 * 文章中にあげた作品は必ず図版を添付すること(スケッチ可)。 * 作品については、作品名、制作年、(わかれば、素材・技法、サイズ)を記載し、作品の図版が掲載してあった文献名(HPも含む)を必ず記載すること。 * 参考文献および引用文献は必ず記載すること。 1,000~1,600字 A4版、原稿用紙 or レポート用紙(手書き可、ただし提出はPDFに)
12/23	月	4	生物学II	伊藤 正則	1月27日(月) 17:00締切	レポート・課題	上記メールアドレスに、(件名)生物学IIレポート、添付ファイル(できればPDF)で送ること。 itohmt.las@tmd.ac.jp に送る。 レポート、注意事項等は別途掲示を参照のこと